

様式1ー2 第3次上尾市環境基本計画【改定版】事業活動指標進捗報告書(2026(令和8)年度)

参考 2

進捗番号	担当部署	環境目標	施策の方針	指標	単位	基準値	基準値年度	現状値	現状値年度	指標の方向性	2026年度報告用目標値	2026年度報告用実績値	目標値の設定根拠
1	生活環境課	1 緑と水が身近で豊かなまち	〈1〉生物多様性の保全	特定外来生物の駆除数(アライグマ)	頭/年	136	2019	291	2024	↗	250		近年におけるアライグマの捕獲頭数に応じて設定した。
2	環境政策課	1 緑と水が身近で豊かなまち	〈1〉生物多様性の保全	自然観察会の参加者数(累計)(生物多様性への取組)	人	40	2019	101	2024	↗	180		過去3か年の参加人数の平均値を目標値として設定。
3	環境政策課	1 緑と水が身近で豊かなまち	〈1〉生物多様性の保全	自然観察会の参加者数(累計)(自然とのふれあい)	人	39	2019	281	2024	↗	380		過去3か年の参加人数の平均値を目標値として設定。
4	みどり公園課	1 緑と水が身近で豊かなまち	〈2〉緑・水辺の保全	緑地率	%	27.8	2020	27.3	2024	↗	27.2		新規保存樹林の指定や公園整備の予定がないため、現状維持に努める。また、保存樹林の新規指定の検討を行う。
5	みどり公園課	1 緑と水が身近で豊かなまち	〈2〉緑・水辺の保全	協定締結公園数	箇所	63	2019	63	2024	→	63		現在の協定締結公園数。現状維持に努める。
6	みどり公園課	1 緑と水が身近で豊かなまち	〈2〉緑・水辺の保全	市民1人当たりの都市公園面積	m	4.1	2020	4.3	2024	↗	4.3		R8年度に都市公園の整備予定がないため、現状維持に努める。
7	農政課	1 緑と水が身近で豊かなまち	〈2〉緑・水辺の保全	市民農園利用者数	人/年	277	2019	281	2024	→	276		現時点の区画は、一般272及び福祉8の合計280である。しかし、福祉区画の利用がない状態のため、半数の4区画の利用を目指し、合計276区画を目標値とする。
8	農政課	1 緑と水が身近で豊かなまち	〈2〉緑・水辺の保全	新規市民農園開設数(累計)	箇所	-	2019	7	2024	↗	13		令和7年度末までに市民農園開設が多数あり、令和8年度当初13箇所に達した。今年度については、令和6年度から7年度にかけて多数の開設があったことから開設数が落ち込むと判断し、現状の維持とする。
9	農業委員会事務局	1 緑と水が身近で豊かなまち	〈2〉緑・水辺の保全	全農地に占める遊休農地面積の割合	%	18.1	2019	16.0	2024	→	14.5		令和7年度終了時点で農地の全体面積が761.5ha、遊休農地の面積が112.5ha、遊休率は14.8%となっている。毎年2haの遊休農地の解消を目標にしており、2026年度は遊休農地面積を110.5haにすることが目標で、遊休農地率14.5%となる。
10	学校保健課	1 緑と水が身近で豊かなまち	〈2〉緑・水辺の保全	学校給食における上尾市産米使用回数	回/年	3	2019	1	2024	→	4		例年11月の給食で精白米に、上尾市産米を使用する計画としており、11月の精白米提供回数が4回のため。
11	みどり公園課	1 緑と水が身近で豊かなまち	〈2〉緑・水辺の保全	上尾丸山公園水辺再生事業イベント開催回数	回	2	2019	12	2025	→	12		月1回以上市民参加型イベントを開催する。
12	生活環境課	2 健やかで安全、快適に暮らせるまち	〈3〉公害の防止	生活排水処理人口普及率	%	89.2	2019	91.6	2024	↗	92.0		R5からR6年度及びR6年度からR7年度の生活排水処理人口普及率の上昇率を平均し、R7年度の実績値に集めることで算出した。
13	下水道施設課	2 健やかで安全、快適に暮らせるまち	〈3〉公害の防止	公共下水道の普及率	%	83.2	2019	86.4	2024	↗	86.6		今後の整備予定面積当たりの人口を過年度の実績から予測し算出
14	都市計画課	2 健やかで安全、快適に暮らせるまち	〈3〉公害の防止	工業地域及び準工業地域における地区計画策定数(累計)	件	3	2019	4	2024	↗	5		新たに工業系用途による土地利用が期待される上尾道路沿道堤崎西部地区において、建築物等に関する適正な制限により周辺環境に配慮した適正な土地利用を図るため、必要な地区計画を策定予定のため。
15	生活環境課	2 健やかで安全、快適に暮らせるまち	〈4〉快適環境の構築	クリーン上尾運動参加人数	人/年	18,762	2019	19,433	2024	→	17,000		直近の令和7年度の数値をもとに設定した。
16	生活環境課	2 健やかで安全、快適に暮らせるまち	〈4〉快適環境の構築	野焼きバトロール回数	回/年	6	2019	9	2024	→	8		野焼きが禁止されていることの周知が進み、苦情の件数も減少していることから、現状維持として目標設定した。
17	都市計画課	2 健やかで安全、快適に暮らせるまち	〈4〉快適環境の構築	地区計画策定数(累計)	件	26	2019	28	2024	↗	29		上尾道路沿道堤崎西部地区において、建築物等に関する適正な制限により周辺環境に配慮した適正な土地利用を図るため、必要な地区計画の都市計画変更手続を実施するため。
18	道路河川課	2 健やかで安全、快適に暮らせるまち	〈4〉快適環境の構築	無電柱化整備延長(累計)	km	0.0	2019	2.1	2024	↗	2.4		無電柱化について、今年度は0.3kmの整備を予定しているため。
19	都市計画課	2 健やかで安全、快適に暮らせるまち	〈4〉快適環境の構築	違反屋外広告物看板の撤去枚数	枚/年	9,463	2019	1,948	2024	↘	1,000		違反屋外広告物が減少傾向にあるため。
20	交通防犯課	2 健やかで安全、快適に暮らせるまち	〈4〉快適環境の構築	撤去した自転車台数	台/年	850	2019	165	2024	↘	180		放置自転車の撤去数は順調に減少しているが、放置自転車は一定数見込まれる。そのため目標値は前年度の目標値から10台減少させた180台とする。

様式1ー2 第3次上尾市環境基本計画【改定版】事業活動指標進捗報告書(2026(令和8)年度)

参考 2

申し番号	担当部署	環境目標	施策の方針	指標	単位	基準値	基準値 年度	現状値	現状値 年度	指標の 方向性	2026年度報告用 目標値	2026年度報告用 実績値	目標値の設定根拠
21	道路河川課	2 健やかで安全、快適に暮らせるまち	〈4〉快適環境の構築	水路等バトロール回数	件/年	12	2019	12	2024	→	12		月1回のバトロールとし、1回×12ヶ月＝12回で目標設定。
22	環境政策課	3 資源循環の暮らしを営むまち	〈5〉循環型社会の構築	ごみに関する出前講座受講者数(累計)	人	584	2019	1,078	2024	↗	1,290		過去3か年の参加人数の平均値を目標値として設定。
23	環境政策課	3 資源循環の暮らしを営むまち	〈5〉循環型社会の構築	地域リサイクル活動による資源回収割合	%	8.35	2019	7.2	2024	↗	7.0		ライフスタイルの変化から活動団体が年々減少傾向にあり、前年度実績値が6.9%だったため、資源回収割合の維持を図るため、目標値を7.0%とした。
24	西貝塚環境センター	3 資源循環の暮らしを営むまち	〈5〉循環型社会の構築	リサイクル品の持ち込み数	点	36	2019	58	2024	→	36		2025年度目標を達成できなかったため、まずは基準値達成を目指す。
25	環境政策課 ゼロカーボン推進室	4 脱炭素な暮らしを営むまち	〈6〉省エネルギー化の推進	省エネに関する出前講座受講者数	人/年	0	2019	30	2024	↗	40		市内小・中学校へ出前講座の利用についてPRすることとし、20人2クラスからの出前講座利用申請を見込んだ。
26	環境政策課 ゼロカーボン推進室	4 脱炭素な暮らしを営むまち	〈6〉省エネルギー化の推進	省エネ診断の受診件数(累計)	件	-	2019	8	2025	↗	10		事業者向け省エネ設備等設置補助金のR8申請数を昨年度実績を考慮して10件と見込み、目標値とした。
27	環境政策課 ゼロカーボン推進室	4 脱炭素な暮らしを営むまち	〈6〉省エネルギー化の推進	市の公共施設及び事務事業からの温室効果ガスの削減率(2014年度比)	%	-	2019	18.0	2024	↗	49.3		再エネ電力導入の効果を見込んだ。
28	環境政策課 ゼロカーボン推進室	4 脱炭素な暮らしを営むまち	〈6〉省エネルギー化の推進	市の公共施設及び事務事業からの温室効果ガス排出量	t-CO2	18,505	2014	15,175	2024	↘	9,391		再エネ電力導入の効果を見込んだ。
29	環境政策課 ゼロカーボン推進室	4 脱炭素な暮らしを営むまち	〈7〉再生可能エネルギー利用の促進	世帯当たりの太陽光発電設置割合(※各年度末時点の設置数・世帯数)	%	4.8	2019	6.4	2024	↗	7.0		過去の上昇率の平均を前年度からの増加分と見込んだ環境省が公表している実績値の確認は数年遅れとなる。
30	環境政策課 ゼロカーボン推進室	4 脱炭素な暮らしを営むまち	〈7〉再生可能エネルギー利用の促進	公共施設の再エネ電力調達割合	%	-	2019	0.0	2024	↗	48.2		LAPPSから公共施設、教育委員会から教育施設のR6電力使用量を集計し、再エネ電力一括入札の設計からR6再エネ電力の使用量を推定。 この比率を目標値と設定した。
31	交通防犯課	4 脱炭素な暮らしを営むまち	〈8〉脱炭素型まちづくりの推進	ぐるっとくんの年間利用者数	人/年	480,306	2019	462,522	2024	↗	405,906		コロナ禍以降、順調に増加していたが、令和7年度に運賃改定(100円→200円)したため、利用者数が落ち込んだ。埼玉版スーパーシティプロジェクト進捗状況評価における2031年度目標値(483,851人)から均等割りて逆算し設定した。
32	道路河川課	4 脱炭素な暮らしを営むまち	〈8〉脱炭素型まちづくりの推進	自転車レーンの整備延長(累計)	km	5.6	2019	10.7	2024	↗	11.2		自転車レーン整備について、今年度は0.3kmの整備を予定しているため。
33	環境政策課 ゼロカーボン推進室	4 脱炭素な暮らしを営むまち	〈8〉脱炭素型まちづくりの推進	次世代自動車の普及割合(乗用車)(※「運輸部門(自動車)CO2 排出量推計データ(次世代自動車考慮版)」(環境省)のうち、乗用車におけるEV・HV・PHV・FCV の割合)	%	-	2019	21.9	2023	↗	26.2		現状値から一定の比率で増加すると見込んだ。環境省が公表している実績値の確認は数年遅れとなる。
34	建設管理課	5 気候変動に適応したまち	〈9〉気候変動への適応	雨水貯留タンク設置補助件数	件/年	28	2019	8	2024	→	32		都市計画マスタープラン2020において、2030年度末までに484基目標としており、2026年度予算で32基計上したため。
35	危機管理防災課	5 気候変動に適応したまち	〈9〉気候変動への適応	伊ツモ防災講座(マイタイムラインを含む)受講者数	人/年	2,412	2019	6,452	2024	→	5,400		令和5年度から令和7年度の受講者数の平均値。
36	環境政策課	6 みんなが環境行動を実践するまち	〈10〉環境行動の活発化	環境推進協議会学習会参加者数	人/年	52	2019	3	2024	↗	10		過去3か年の参加人数の平均値を目標値として設定。
37	指導課	6 みんなが環境行動を実践するまち	〈10〉環境行動の活発化	温暖化対策講座実施校数	校/年	2	2019	2	2024	↗	2		年間指導計画に基づく環境問題の授業や、SDGs・温暖化対策に取り組んでいる各校の現状を踏まえ、今年度の実施目標を2校とした。
38	生涯学習課	6 みんなが環境行動を実践するまち	〈10〉環境行動の活発化	環境学習講座参加者数	人/年	0	2019	26	2024	↗	30		令和6年度は2講座・26名、令和7年度は3講座・35名が参加。令和8年度の実施予定数は2講座であり、令和7年度より参加者を増やすことが難しいと見込まれることから、同じ講座数の令和6年度の人数より増やすことを目標とした。
39	環境政策課	6 みんなが環境行動を実践するまち	〈10〉環境行動の活発化	あげお環境賞受賞団体の紹介件数	件/年	2	2019	2	2024	→	2		過去2年間は、紹介団体件数が1件だったため、1件増加の2件を目標とする。
40	農政課	6 みんなが環境行動を実践するまち	〈10〉環境行動の活発化	農業体験教室の開催数(作付け・収穫)	回/年	8	2019	8	2024	→	8		作付けしている圃場の規模(市民農園)や栽培期間から考えると、8回程度の開催が適正回数であるため、現状維持とする。